

仙台市役所新本庁舎建設NEWS

第 2 号

発行：仙台市財政局本庁舎整備室

令和 7 年 1 月

編集協力：大林組・鉄建建設・仙建工業・深松組共同企業体

トピックス 工事進捗状況のお知らせ

議会棟の解体が完了しました！

解体工事の着手から4カ月が経ちました。議会棟の地下躯体の解体が完了し、議会棟は地上・地下共全ての躯体がなくなりました。



地下躯体解体の様子



解体が全て完了した状況

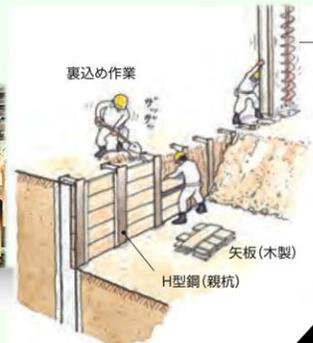


山留工事が山場を迎えました！

山留工事は概ね終了しました。最深部へ向けて更に深く掘る準備が整いつつあります。



挿入するH型鋼(親杭)



～メモ～

オーガーという削孔ドリルを使って穴を掘りH型鋼(親杭)を挿入し土留め壁を作っています

土木工事も進んでいます！

新庁舎と干渉する下水管の盛替え工事が進行中！



市民広場側地盤調査の様子



新設下水樹の設置状況



新設下水管の設置状況

豆知識

2代目市役所庁舎の基礎が発見されました

建設工事を進めていたところ、2代目庁舎の基礎が発見されました。後の工事に支障があるため解体しましたが、残っていた鉄筋を利活用したモニュメントを仮囲い南西角に展示しております。近くへお越しの際は、ぜひ覗いてみてください。



▲基礎躯体解体



▶モニュメント

2代目市役所庁舎

2代目庁舎は1929年に完成したルネサンス様式鉄筋コンクリートの3階建てで、近代都市・仙台のシンボルとなっていました。高塔上部にはサイレンが設置され、正午の合図として使用されていました。



新庁舎のご紹介

～防災環境への取り組み・新本庁舎の環境性能についてご紹介します！～

取り組み

防災環境都市を掲げる庁舎として、取り組みの一部をご紹介します！



▲エントランスイメージ

○内装材の一部を木質化することでCO2排出量を削減し、脱炭素を推進します。
○執務空間は省エネに有効な放射空調等を採用し、環境負荷低減を実現します。



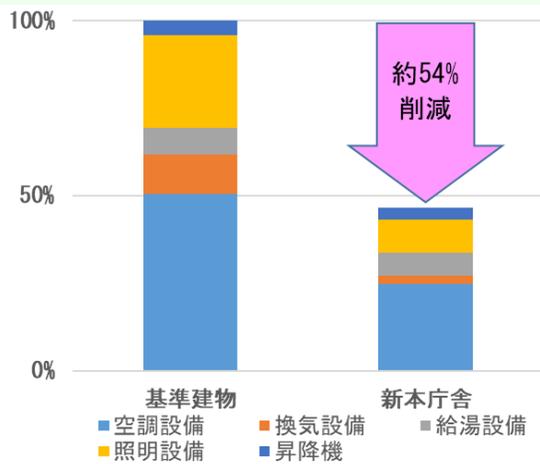
▲執務室イメージ

環境性能

環境への取組みにより第三者認証でのZEB Ready取得！



▲ZEB認証プレート



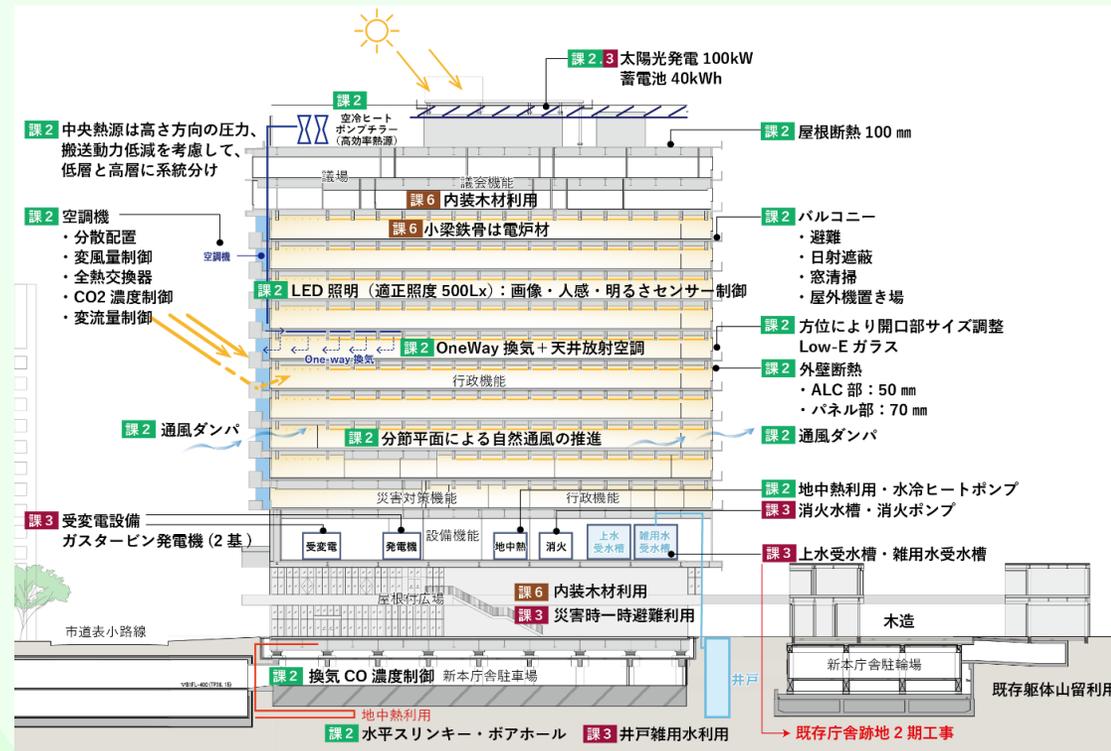
▲エネルギー消費削減図

○ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称が「ZEB」です。新庁舎は基準エネルギーから50%以上削減した建築物の評価「ZEB Ready」を取得しています。
○空調や照明など省エネ計画とすることで、約54%のエネルギーを削減しています。

補助金の活用

令和6年度サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）に採択されました！

○サステナブル建築物等先導事業とは、省エネ・省CO2に係る先導的な技術の普及啓発に寄与する住宅・建築物のリーディングプロジェクトに対し、整備費の一部を国が支援する事業です。今年度（令和6年度）全国で8件のプロジェクトが採択され、その一つに本事業が選ばれました。過去の採択プロジェクト含め東日本の政令指定都市庁舎では本事業が初（※）の採択プロジェクトとなります。※決定時時点



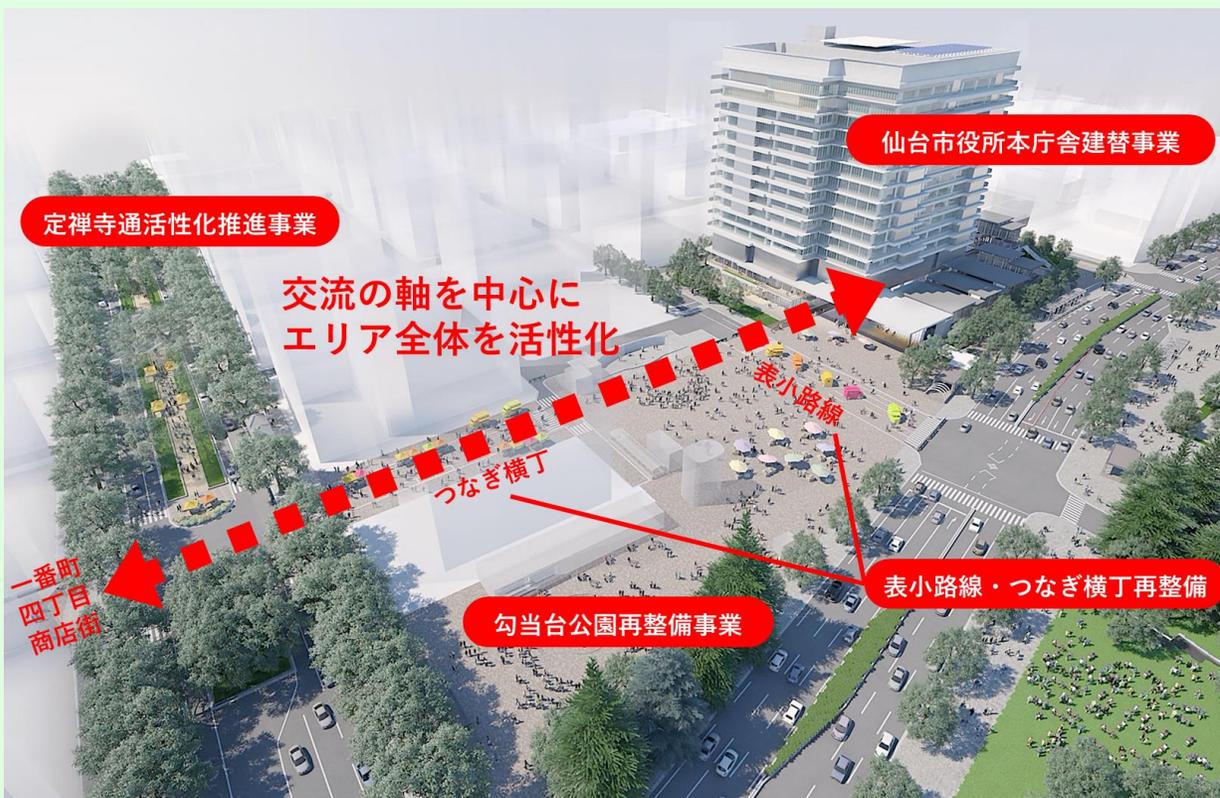
▲環境配慮計画図

新庁舎のご紹介

～新本庁舎低層部等の一体的利活用について紹介します！～

一体的利活用エリアの概要

現在、本庁舎が含まれる勾当台・定禅寺通りエリアでは、本庁舎の建替、勾当台公園・定禅寺通りの再整備など、大きな事業が進められています。



このエリア内の事業が連携し、まちの回遊性向上や賑わい創出に貢献するため、新本庁舎低層部に民間活力を導入し、定禅寺通から市役所に連なる道路空間や市民広場、新本庁舎の低層部（庁舎1～2階、敷地内の広場）などをひとつの広場として一体的に利用できるような空間・仕組みづくりを検討しています。

エリアの使われ方

これらの公共空間の一体的利活用に向け、行政、地域関係者、有識者による会議等を通じて、エリアの将来像等について議論を重ねてきました。



今後、地域の皆さまや有識者等で構成される協議体を組織して、利活用のルール等を検討し、その内容に基づいて、低層部の運営等を担う民間事業者が機動的に事業を運営することを想定しています。

まちの回遊性向上や周辺との賑わいの相互波及を目指し、一体的利活用エリアにおけるイベントと地域で様々な活動を行っているプレイヤーとのマッチングなどを行うコーディネート機能、利用者の利便性向上に繋げるための窓口等の検討を進めます。

「仙台市役所新本庁舎低層部等の一体的利活用に関するシンポジウム」

令和6年7月には、これまでの検討状況等をお知らせするシンポジウムを開催しその様子を市HPでも紹介しております。ぜひご覧ください。

▶二次元コード



トピックス ～一体的利活用エリアにおける社会実験を実施しました！～

新本庁舎低層部等の一体的利活用に向け、一番町四丁目商店街で開催中のイベントに併せて、つなぎ横丁を車両通行止めとし、勾当台公園市民広場まで連続した空間で社会実験を実施しました。令和6年11月から12月に2回に分けて実施し、5日間で1000名（※1）を超える皆さまに会場いただきました。（社会実験1回目実施日：11/8～11/10 社会実験2回目実施日：12/21～12/22 ※2）

つなぎ横丁（市道国分町三丁目一号線）
一番町四丁目商店街や定禅寺通との結節点

勾当台公園市民広場
一体的利活用エリアの中心部

市役所新本庁舎低層部（予定地周辺）
多様な活動とチャレンジ、情報発信の拠点

仙台市中心部と一体的利活用エリアをつなぐ、交流の軸



＜社会実験実施内容＞

一番町四丁目商店街で開催中のイベントに合わせて交通規制を行うことで、賑わいの連続性や相互波及を促し、人の流れを検証

- ※1 スタッフ（2名）が15分おきに会場内を巡回してカウンターで計測した実測値
- ※2 実施した社会実験の内容は、各日で異なる



＜社会実験実施内容＞

ビジョンカーに近接して滞留スペースを設けることで、新本庁舎に整備する大型ビジョンの設置イメージや会場周辺の情報発信による効果を検証



＜社会実験実施内容＞

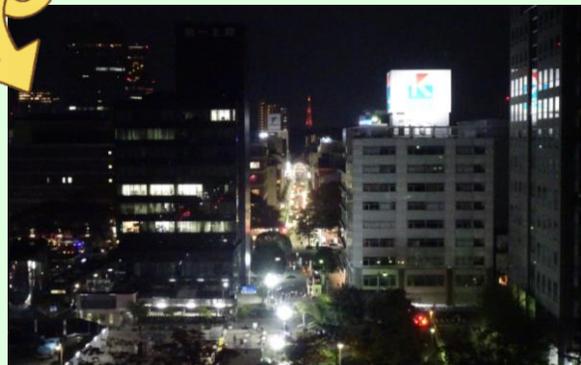
約160インチの画面を4分割して、大きさやフォントなど、統一的な掲出ルールを設定し作成した動画の見え方を検証

次頁へ続く

今回実施した社会実験を通じて、R7年度末に予定している低層部運営事業者公募開始に向けた検討に活かすため、以下の項目について検証しました。

- 検証項目 ① つなぎ横丁の交通規制実施による人の流れの変化・周辺への影響
 ② 低層部運営事業者の収益性検証（大型ビジョンのニーズ等）

検証内容のご紹介（一部抜粋）



▲市役所本庁舎の屋上から会場を見た様子（昼→夜）

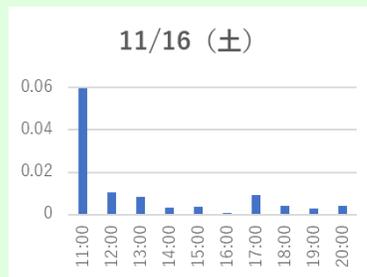
○今回紹介しているのは結果の一部です。本社会実験の詳しい実施結果については、令和7年3月末までに整理後、ホームページ等でお知らせする予定です。

○市道国分町三丁目1号線（つなぎ横丁）を交通規制したときとそれ以外での歩行者の滞留状況の変化を確認するため **4つの条件を設定**し、比較検討を行いました。

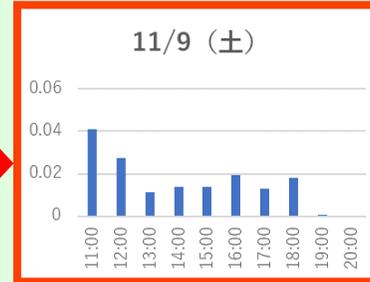
- 条件①** 周辺でイベント等が行われていないとき
条件② **社会実験 1回目**（勾当台公園市民広場、つなぎ横丁、一番町四丁目商店街でイベントを実施）
条件③ 一番町四丁目商店街のみでイベントを実施
条件④ **社会実験 2回目**（勾当台公園市民広場、一番町四丁目商店街でイベントを実施）

○社会実験 1回目での、つなぎ横丁における人流調査では、イベントが行われていない日（11/16～11/17）と比較し、「時間別にみた通行量に対する滞留量の割合」の**増加傾向が確認**できました。

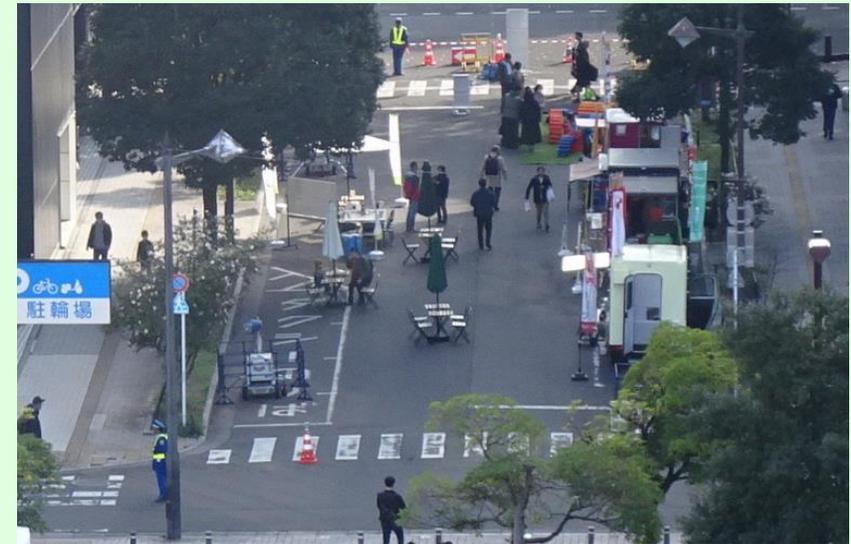
条件① 周辺イベントなし



条件② 社会実験 1回目



▲つなぎ横丁における通行量に対する滞留量の割合※



▲社会実験（つなぎ横丁）の会場を見た様子（昼）

～社会実験に関するアンケート結果～

（1回目速報版抜粋）

- **つなぎ横丁の利活用について**
 - ・回答者（60名）のうち8割以上の方が、つなぎ横丁を交通規制の上でイベントを実施した方がまちの連続性や賑わいを感じられる旨を回答
 - ・来場者のうち5割以上の方が、一番町四丁目商店街で行われているイベントに立ち寄ってから来場した（またはこれから立ち寄る）と回答
- **ビジョンカーによる情報発信について**
 - ・回答者（60名）のうち、ビジョンカーによる情報発信は興味や関心をひくかという質問に対して、7割以上が「そう思う」、「どちらかというと思う」と回答

※ 仙台市まちづくり政策局「仙台データダッシュボード」のデータセット「仙台市中心市街地の人流」をもとに作成

仮囲いを活用した取り組み

新本庁舎整備事業に伴い設置している仮囲いは、第1期工事が完了する令和9年秋頃まで設置する予定となっておりますが、この仮囲いを活用した取り組みを紹介します。庁舎敷地が囲われたことにより歩行空間が狭くなり、ご通行の皆さまにはご不便おかけしておりますが、近くにお越しの際は、仮囲いを活用した取り組みをぜひご覧ください。

仙台市の事業等PRの取り組み

仙台市では、令和6年度より仮囲いを活用して本市の施策・事業等の情報を発信しています。これまでの実績では、7年ぶりに仙台で開催となった東北絆まつり等の大規模イベント情報や、施策や関連するイベントの情報、障がいのある方が手掛けたアート作品、オリンピックでメダルを獲得した等スポーツで顕著な成績を収められた選手の紹介等、幅広く多様な情報を発信しております。

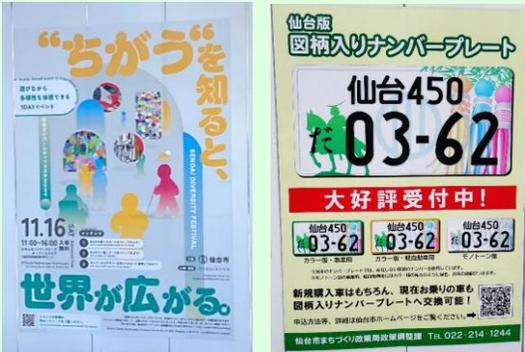


アート作品（障害企画課）



ダイバーシティイベント情報（ダイバーシティ推進課）

▲東北絆まつり（東北連携推進室）



図柄入りナンバープレート（政策調整課）

仮囲いのイメージアップ♪

建築JV（大林組・鉄建建設・仙建工業・深松組共同企業体）では、建設業の魅力発信活動の一環として、仮囲いの一部に各種掲示物や展示スペースを設けており、12月からはライトアップを始めました。近くを通る市民の皆さまに少しでも楽しい気持ちになっていただければ幸いです。近くをお通りの際はぜひ写真を撮ってください！



仮囲い【南側】クリスマスツリー ※～12月25日で終了しました。



仮囲い【南側】現在は、けやきツリー



仮囲い【北東側】 巨大なツリー 休憩所のライトアップ (市民広場から見えます)



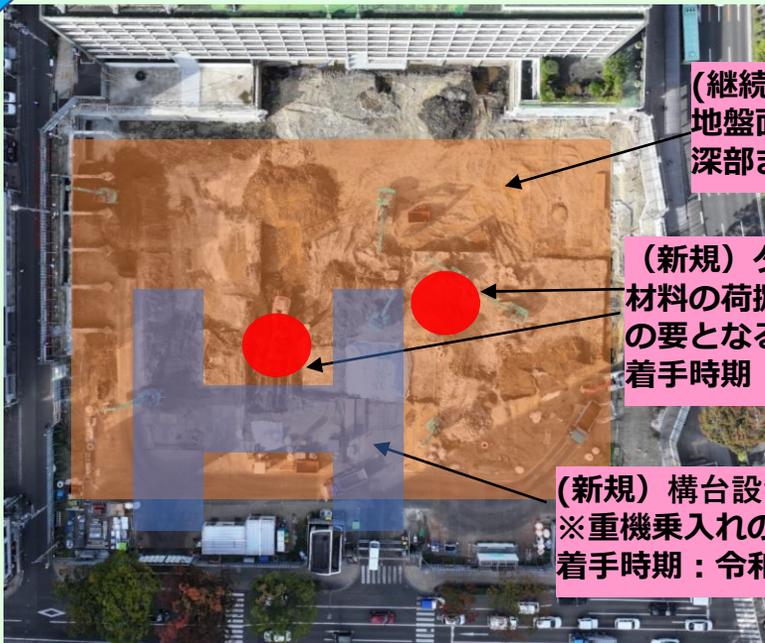
仮囲い【南西側】 第2代本庁舎の基礎躯体鉄筋(100年前)を使用した“鉄筋ツリー”命名「仙台シティホールツリー」



仮囲い【南東側】 プロジェクトの象徴 The Greenest Cityの看板

工事の予定

引き続き、新庁舎の土台である地下構築に向けて掘削工事を最深部まで進めていきます！



(継続) 掘削工事
地盤面から約10m付近の最深部まで掘削します！

(新規) タワークレーン設置
材料の荷捌き・重量部材取付けの要となるクレーンです
着手時期：令和7年5月頃～

(新規) 構台設置
※重機乗入れのために必要なものです
着手時期：令和7年2月頃



▲構台設置のイメージ



▲掘削工事のイメージ



▲タワークレーンのイメージ①(稼働状況)



▲タワークレーンのイメージ②(組立状況)

工事完成までのスケジュール

	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
マスタースケジュール	第1期建設工事 (約41か月)				○開庁
地上部分			躯体工事 (鉄骨建方)	内外装工事	
地下部分 (地盤面下)	議会棟 地下解体工事	掘削、土工事 地下躯体工事			

問い合わせ窓口

仙台市財政局本庁舎整備室
 仙台市青葉区国分町3-7-1 市役所本庁舎1階
 電話番号：022-214-3170 (直通電話)

市役所本庁舎
 建替情報は
 こちらから



編集
後記

「仙台市役所新本庁舎建設NEWS」として建替事業や工事の進捗状況の報告等を実施しています。次回は引き続き本格的に始まった掘削工事等の様子をお届けする予定(4月頃)です。今後新たな重機が搬入され最深部まで掘り進められる等、工事にわかりやすい変化がありますので、近くへお越しの際は、工事の様子を覗いてみてください。